

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	学校図書館支援事業												
測定年度	2020(R2)年度			部	総合教育部				課	中央図書館			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4					
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標	16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち											
	実行計画名												

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2014(H26)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	学校図書館法、学習指導要領				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市内小中学校に在籍する児童・生徒			
	サブターゲット	市内小中学校図書館を活用して児童・生徒の読書活動および学習活動の指導をする教職員			
	ターゲットが抱える課題	児童・生徒の読書離れが進んでおり、読書活動を推進して学力向上につなげていく必要がある。			
	ターゲットが抱える課題	児童・生徒が身近に読書に親しむことが可能な学校図書館として十分に活用されていない。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	全小中学校に学校司書を配置して学校図書館の機能の充実および活用を促進させることで、児童・生徒の読書活動をより一層推進し、言語能力及び情報活用能力を育成する。このことにより、子どもたちが生涯にわたり学び生きる力を育む教育環境を提供する。				
事業概要	学校図書館の充実と市立図書館蔵書の効果的な活用を図ることで、子どもの読書活動を推進し、自ら学び考える力の育成を支援することを目的に、学校教育部(教育指導課)の事業計画「読書活動推進事業」と連携し、中央図書館から配置した学校司書への人的・技術的支援を行うとともに、市内小中学校の学校図書館における児童・生徒への読書環境の整備及び読書活動の支援や調べ学習などの授業支援などの取り組みを行う。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
	小学校図書館の利用が向上し、児童の読書活動が推進される。	全小学校に読書活動・学習活動の支援が広がる。	学校司書配置を小学校へ拡大する。	
指標設定	指標説明	市内全小学校の学校図書館での児童一人当たり年間貸出冊数	枚方市立図書館の学校教育支援用団体貸出を利用した小学校数	学校司書が配置された小学校数
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	目標(見込み)	23 24 26 28	35 36 38 40	10 8 16 11
	実績	22	38	0
	達成度	96%	109%	0%
分析	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4/1～5/31、臨時休校。通常の教育活動の再開後も、貸出を停止するなど、利用を制限する対策が取られた。	主に2・3学期、国語の教科書の並行読書を中心に利用が多かった。	中学校区の学校司書が校区内の小学校を支援した。	

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	4.02
任期付職員	1.07
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	42,205	43,547	34,127		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	2,735	2,018	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	44,940	45,565	34,127		
	物件費計	5,118	6,064	10,394	12,005	87%	
	歳出計	50,058	51,629	44,521			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
	一般財源	50,058	51,629	10,394	12,005		

#### 5. 総括的分析

総括的分析	<p>新型コロナウイルス感染症流行の影響により、閲覧のみしたり、来館人数を制限したり、学校図書館の活動が制限された一年であった。学校司書はコロナ対策として、校内の教職員と連携を図り、密を避ける表示やパーテーションの設置、消毒等を実施した。</p> <p>学校図書館システムにおいては、小中64校の先生用端末の更新を行った。学校教育支援用団体貸出の利用件数は290件で、令和元年度の387件より減ったが、利用校は増えており、認知度は上がっている。</p> <p>学校教育部と連携して、小学校への学校司書配置に向けて取り組んだ。</p>
-------	--

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	<p>学校司書への支援を通して、学校図書館の充実を図り、授業への活用や子どもの読書活動推進につなげる。</p> <p>学校図書館システムの維持管理・サポートを適切に行なう。</p> <p>市立図書館蔵書を活用して、市内小中学校の学校図書館との連携を図り、児童生徒の読書活動の推進と学習活動の充実を支援する。</p> <p>学校教育部と連携して、小学校への学校司書配置に向けて取り組む。</p>

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	コンピュータシステム運営事業												
測定年度	2020(R2)年度			部	総合教育部				課	中央図書館			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4					
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち											
	実行計画名												
1. 事務事業の概要													
種類	市民サービス			特性	選択的事業				区分	一般事務事業			
事業期間	1996(H8)年度			年度	~					年度まで			
根拠法令等	枚方市立図書館条例												
関係補助金名称								サンセット		~			
関係附属機関名称													
事業対象	メインターゲット	・枚方市内及び北河内7市在住・在学・在職等の図書館利用者											
	サブターゲット												
	ターゲットが抱える課題	貸出・返却にはじまる様々な図書館サービスをスムーズに行う必要がある。											
	ターゲットが抱える課題	レファレンス(調査業務)をするために、窓口へ来るのに不便が生じている。											
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	システムを安定的に運用することで、図書館利用者がスムーズな利用ができ、市民からのレファレンスに対しても適切な対応ができています。												
事業概要	図書館サービスを効率的効果的に提供するため、図書館コンピュータシステムを安定的に運用することを目的に、図書館コンピュータシステムにより中央図書館、分館、分室をオンラインで結び、蔵書管理、貸出返却業務、インターネットによる蔵書検索サービスや予約サービス等を行う。												
2. ロジックモデル及び指標設定													
ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)				
	図書館利用者が蔵書検索をはじめとするサービスをスムーズに受けることができる。				図書館コンピュータシステムが安定的に稼働する。				図書館コンピュータシステムの運用に必要な保守点検や改修等を行う。				
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)				
	指標説明	図書館HPアクセス数				システムが安定的に稼働した日数				サーバ室日常点検(室温確認・UPS点検)日数			
			単位	アクセス			単位	日			単位	日	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標(見込み)	1,622,000	1,622,000	1,622,000	1,622,000	365	365	365	366	365	365	365
	実績	1,227,758				365				358			
達成度	76%				100%				98%				
分析	新型コロナウイルス感染症感染拡大にかかる緊急事態宣言に伴い、図書館自体を閉館していた時期があったため、想定よりも少なくなった。				大きな障害はなく、またシステムの軽微な不具合についても保守範囲内で速やかに対応を行った。				職員が出勤している日は必ず点検を行った。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.27
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	14,073	4,089	2,153		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	14,073	4,089	2,153		
	物件費計	26,052	25,463	26,783	26,793	100%	
	歳出計	40,125	29,552	28,936			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		40,125	29,552	26,783	26,793		

#### 5. 総括的分析

総括的分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館システムを引き続き運用した。また、令和4年度に行う図書館システムリプレイスに向けて、検討を進めた。</li> <li>・学校図書館先生用端末及び分館インターネット端末の更新に向けて手続きを進めた。</li> <li>・UPS(無停電電源装置)バッテリー交換を行った。</li> <li>・香里ヶ丘図書館建替えに伴う端末の増設を行った。</li> </ul>
-------	---

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度に行う図書館システムリプレイスに向けて、引き続き検討を進める。</li> <li>・中央図書館の図書館システム端末の更新を行う。</li> </ul>

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	各図書館及び分室施設維持管理事業										
測定年度	2020(R2)年度			部	総合教育部			課	中央図書館		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち									
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1973(S48)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	枚方市立図書館条例				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	・枚方市内及び北河内7市在住・在学・在職等の図書館利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	安全性や衛生面の観点から施設の経年劣化等に対して、改善を施す必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	施設及び設備を適切に維持管理することで、利用者が安全かつ快適に図書館を利用できる状態。				
事業概要	図書館及び分室の利用者に快適な利用環境を提供する目的で、図書館および分室の清掃業務、空調機器等の維持管理および修繕等を行う。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						図書館及び分室が適正に維持管理される。				必要な施設保全や保守点検を行う。			
指標説明						修繕料、工請費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式: 決算額/当初予算額×100】				修繕件数(保全計画に基づく)			
指標設定	指標種類	単位				単位				%			
	指標数値	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	目標(見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績					100	100	100	100	10	7	7	7
	達成度					91%				70%			
分析						香里園・氷室分室照明器具修繕等、施設の不具合が発生した際は随時予算内で対応を行った。				令和2年度の保全計画に基づいた7件の工事(中央図書館受変電設備更新ほか)は全て実施した。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.27
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	4,135	2,084	2,153	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	4,135	2,084	2,153	
	物件費計	74,661	81,988	112,320	119,850	94%
	歳出計	78,796	84,072	114,473		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	6,000	56,000	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	6,000	56,000	
一般財源		78,796	84,072	106,320	63,850	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館及び分室の施設維持のための委託業務、施設修繕等を行った。</li> <li>・市有建築物保全計画に基づき、中央図書館の屋根・外建具改修工事、受変電設備更新工事、昇降機設備更新工事、菅原施設の屋根改修工事、牧野施設の昇降機設備更新工事、空調工事、及び津田施設の昇降機設備更新工事を行った。</li> </ul>
-------	---

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	市有建築物保全計画に基づき、御殿山施設の受変電設備更新工事、津田施設の外壁・内装・駐輪場外棟の外壁の改修工事及びさだ施設の屋根・外壁改修工事を行う。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	自動車文庫運営事業												
測定年度	2020(R2)年度			部	総合教育部				課	中央図書館			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち										
	実行計画名		17-3.生涯学習活動の支援										

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1973(S48)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	枚方市立図書館条例				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市内及び北河内7市在住・在学・在職等の自動車文庫利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	最寄りの地域に図書館及び分室等が設置されておらず、図書館サービスを利用しにくい。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	自動車文庫の運営によって、地域間で生じる不便が解消し、市内全域できめ細かな図書館サービスを受けることができる状態。				
事業概要	図書館及び分室を利用することが不便な地域の市民に対して、自動車文庫により図書館サービスを提供することを目的に、自動車文庫により市内のステーションを巡回し、図書館資料の貸出・返却・予約受付の業務を行う。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		市内全域で図書館資料の貸出・返却・予約受付などのサービスが受けられる。				主に市内のステーション近隣の住民が、自動車文庫を利用する。				自動車文庫により市内のステーションを巡回して図書館サービスを提供する。			
指標説明		自動車文庫の貸出冊数(個人・団体)				自動車文庫の延べ利用者数				巡回するステーション数			
		単位		冊		単位		人		単位		ステーション	
指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標設定	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	44,469	44,469	44,469	44,469	9,878	9,878	9,878	9,878	22	22	22	22
	実績	26,067				7,809				27			
	達成度	59%				79%				123%			
分析		新型コロナウイルス感染症感染拡大にかかる緊急事態宣言に伴い、自動車文庫の運行をしていない時期があったため、想定よりも少なくなった。				新型コロナウイルス感染症感染拡大にかかる緊急事態宣言に伴い、自動車文庫の運行をしていない時期があったため、想定よりも少なくなった。				令和3年2月末に図書館3分室(釈尊寺・茄子作・東香里)を閉室したことに伴い、サービス維持のため4ステーションを追加した。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	3.03
任期付職員	1.20
会計年度任用職員	0.80
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	28,504	25,722	26,165	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	1,929	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	28,504	25,722	28,094	
	物件費計	108	157	226	160	141%
歳出計		28,612	25,879	28,320		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
一般財源		28,612	25,879	226	160	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	(自動車文庫) 開室日:381日 貸出冊数(個人):24,520冊 予約受付件数(個人):4,260件 延べ利用者数:7,809人  ・令和3年2月末に図書館3分室(釈尊寺・茄子作・東香里)を閉室したことに伴い、サービス維持のため4ステーションを追加した。
-------	--

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	・全域サービス実施のために、固定施設の利用が難しい地域や市民に図書館利用機会を提供する。 ・機動力を生かして図書館利用の便利さをPRする等の取り組みを実施しながら、最適な役割分担と配置の検討を進める。



# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	障害者利用促進事業												
測定年度	2020(R2)年度			部	総合教育部				課	中央図書館			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4					
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち											
	実行計画名	17-3.生涯学習活動の支援											

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1982(S57)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	枚方市立図書館条例				
関係補助金名称			サンセット		~

関係附属機関名称

事業対象	メインターゲット	・視覚障害者等(視覚障害者、肢体不自由者、寝たきりの人、学習障害者等)・枚方市内及び北河内7市在住・在学・在職等の図書館利用者
	サブターゲット	
	ターゲットが抱える課題	障害の有無によって利用できない図書館サービスが生じてしまう。
	ターゲットが抱える課題	

めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)  
録音・点字資料の貸出や、対面読書、おはなし会など利用者の障害に対応したサービスが提供されることで、利用者が障害の有無にかかわらず、図書館サービスが広く利用される状態。

事業概要  
障害のある利用者等の読書環境を整備するとともに、音訳協力者等の養成を行い、障害者等の利用促進を図ることを目的として、録音・点字資料の貸出、製作、視覚障害者への対面読書、聴覚障害者向けおはなし会及び手話・字幕付映像資料の制作等を行うとともに音訳協力者の養成を行う。

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)						
	利用者の障害の有無にかかわらず、読書活動に親しむことにつながる。	障害を有する利用者が図書館に来館し、対応したサービスを受けることができる。	録音・点字資料の貸出、製作、視覚障害者への対面読書、聴覚障害者向けおはなし会及び手話・字幕付映像資料の制作等を行う。						
指標設定	指標説明	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)					
	障害を有する利用登録者数	点字・録音図書貸出タイトル数	点字・録音図書所蔵数						
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標					
	指標数値	単位 人	単位 タイトル	単位 タイトル					
	目標(見込み)	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5					
	実績	118 118 118 118	5,200 5,200 5,200 5,200	6,800 6,800 6,800 6,800					
達成度	124	3,455	6,874						
達成度	105%			66%			101%		
分析	HP等による障害者サービスの積極的なPRにより、想定よりも多くなった。	新型コロナウイルス感染症感染拡大にかかる緊急事態宣言に伴い、図書館自体を閉館していた時期があったため、想定よりも少なくなった。	中央図書館にて新たに36タイトルの録音図書を製作し、利用に供した。						

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	2.37
任期付職員	0.80
会計年度任用職員	0.80
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	26,397	29,297	22,296	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	3,306	1,780	1,929	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	29,703	31,077	24,225	
	物件費計	1,412	1,255	880	1,385	64%
	歳出計	31,115	32,332	25,105		
歳入	国庫支出金	0	0	233	630	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	233	630	
	一般財源	31,115	32,332	647	755	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚障害者に対する録音資料の貸出(3,368タイトル)、点字資料の貸出(87冊)、対面読書(77回)を実施した。</li> <li>・点字、録音図書等の制作・貸出や対面読書を実施した。</li> <li>・音訳協力者の養成のために、音訳協力者連絡会・スキルアップ研修会や音訳学習会(公開講座)を実施した。</li> <li>・「手話で楽しむおはなし会」「手話ブックトーク」「バリアフリー映画上映会」「バリアフリー体験会(ワークショップ)」や、図書館サービスの取り組みをPRする「出前講座」を開催した。</li> </ul>
-------	---

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	読書バリアフリー法を踏まえ、引き続き障害者に対するサービスの充実に努める。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	図書館資料購入事務													
測定年度	2020(R2)年度				部	総合教育部				課	中央図書館			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち											
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	市民サービス			特性	選択的事業				区分	一般事務事業				
事業期間	1973(S48)年度				年度	~			年度まで					
根拠法令等	枚方市立図書館条例													
関係補助金名称									サンセット	~				
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		枚方市内及び北河内7市在住・在学・在職等の図書館利用者											
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題		市民が求めている新しい図書・資料との出会いが困難となる。											
	ターゲットが抱える課題		正確で新しい情報を知る機会を求められている。											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	蔵書バランスや市民のニーズ等を踏まえ、あらゆる分野にわたり正確で新しい情報を提供できる資料を計画的に購入し、図書館サービスの充実が図られた状態。													
事業概要	基本的な蔵書構成を維持し、かつ市民の多様なニーズに応えるため、娯楽のための雑誌・読み物から専門書に至るまで、幅広くかつ効率的に資料を購入し、図書館サービスの充実を図ることを目的として、入門書から専門書に至る難易度ごとの蔵書バランスを意識した資料及び教養を高める資料や市民のニーズ等を踏まえた、あらゆる分野にわたり正確で新しい情報を提供できる資料を計画的に購入する。													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	新しい蔵書を求めて、市民が来館することで、継続的な読書活動が推進される。				購入資料は図書館資料として整備・配架され、市民の利用に供する。				雑誌・読み物から専門書に至るまで、幅広く資料を購入する。					
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	指標説明		市民一人あたりの貸出冊数		配架された図書館資料数		図書館資料の購入冊数							
			単位	冊	単位	冊	単位	冊						
	指標種類		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標							
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	8.70	8.70	8.70	8.70	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000	
実績		7				59,934				45,026				
達成度		80%		166%		125%								
分析		新型コロナウイルス感染症感染拡大にかかる緊急事態宣言に伴い、図書館自体を閉館していた時期があったため、想定よりも少なかった。		香里ヶ丘図書館のリニューアルオープンに伴い、臨時経費で資料を購入したため、想定よりも多かった。		香里ヶ丘図書館のリニューアルオープンに伴い、臨時経費で資料を購入したため、想定よりも多かった。								

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	5.47
任期付職員	2.67
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	56,392	61,279	54,955		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	56,392	61,279	54,955		
	物件費計	69,505	70,465	69,946	69,947	100%	
	歳出計	125,897	131,744	124,901			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	700	2,926	2,676		
	歳入計	0	700	2,926	2,676		
	一般財源	125,897	131,044	67,020	67,271		

#### 5. 総括的分析

総括的分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>蔵書計画に定める収集方針を踏まえ、蔵書バランスを重視した、資料の計画的な収集を実施した。</li> <li>図書館の蔵書となる図書を児童書15,814冊、一般書29,212冊、合計45,026冊購入した。</li> </ul>
-------	--

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	「枚方市立図書館蔵書計画基本指針」「枚方市立図書館資料選書基準」に基づき、選書した図書を計画的に購入する。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	図書館分館運営事業												
測定年度	2020(R2)年度				部	総合教育部				課	中央図書館		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち										
	実行計画名		17-3.生涯学習活動の支援										

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業		区分	一般事務事業		
事業期間	1979(S54)年度		年度	~	年度まで			
根拠法令等	枚方市立図書館条例							
関係補助金名称				サンセット	~			
関係附属機関名称								
事業対象	メインターゲット	枚方市内及び北河内7市在住・在学・在職等の図書館利用者						
	サブターゲット							
	ターゲットが抱える課題	気軽に立ち寄れる最寄りの地域に中央図書館がない市民が、図書館サービスを利用しにくい。						
	ターゲットが抱える課題							
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	地域の拠点として他の図書館施設と連携した運営がなされ、市内全域へのきめ細かな図書館サービスを受けることができる状態。							
事業概要	図書館サービスにおける地域の拠点として、中央図書館および図書館分室と連携しながら、図書館資料の貸出やレファレンスサービス等の図書館サービスを提供することを目的として、図書館資料の貸出や予約の受付、レファレンスサービス、各種行事等を行う。							

## 2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		市内全域で図書館資料の貸出・返却・予約受付などのサービスが受けられる。				近隣住民を主に図書館分館を利用する。				地域拠点として図書館サービスを提供する。			
		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明	分館の貸出数				分館の来館者数合計				分館数			
		単位		冊		単位		人		単位		館	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	2,044,908	2,044,908	2,044,908	2,044,908	1,293,153	1,293,153	1,293,153	1,293,153	7	7	7	7
実績	1,743,806				921,113				7				
達成度	85%				71%				100%				
分析	新型コロナウイルス感染症感染拡大にかかる緊急事態宣言に伴い、図書館自体を閉館していた時期があったため、想定よりも少なくなった。				新型コロナウイルス感染症感染拡大にかかる緊急事態宣言に伴い、図書館自体を閉館していた時期があったため、想定よりも少なくなった。				令和元年度に引き続き7分館を地域拠点としてサービスを実施した。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.27
任期付職員	1.33
会計年度任用職員	0.14
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	61,082	22,063	7,798		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	1,397	1,780	338		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	62,479	23,843	8,136		
	物件費計	389	359	77,133	79,327	97%	
歳出計		62,868	24,202	85,269			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	52	830		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	52	830		
一般財源		62,868	24,202	77,081	78,497		

#### 5. 総括的分析

総括的分析	<p>(分館合計)            年間開館日数:2,135日            貸出冊数:1,743,806冊            予約受付件数(個人):554,577件            延べ利用者数:830,733人</p> <p>・7分館においては、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、臨時休館や予約図書受渡のみのサービスに限定される時期があったが、児童・成人向けの各種事業を積極的に実施した。            ・令和2年4月1日から香里ヶ丘図書館に指定管理者制度を導入した。</p>
-------	--

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	図書館サービスにおける地域の拠点として、図書館資料の貸出、レファレンスサービス等を引き続き提供する。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	図書館分室運営事業												
測定年度	2020(R2)年度			部	総合教育部				課	中央図書館			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4					
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち											
	実行計画名	17-3.生涯学習活動の支援											

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1973(S48)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	枚方市立図書館条例				
関係補助金名称			サンセット		~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市内及び北河内7市在住・在学・在職等の図書館利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	中央図書館や分館が気軽に立ち寄れる最寄りの地域にない市民は図書館サービスを利用しにくい。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	地域の拠点として他の図書館施設と連携した運営がなされ、市内全域へのきめ細かな図書館サービスを受けることができる状態。				
事業概要	分館の利用が困難だが比較的人口が集中している地域に設置し、中央図書館および分館と連携しながら、図書館資料の貸出や読書支援等の図書館サービスを提供することを目的として、図書館資料の貸出や予約の受付、各種行事等を行う。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
	市内全域で図書館資料の貸出・返却・予約受付などのサービスが受けられる。	近隣住民を主に図書館分館を利用する。	地域拠点として図書館サービスを提供する。	
指標設定	指標説明	分室の貸出冊数	分室の来館者数合計	分室数
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位 冊	単位 人	単位 室
	目標(見込み)	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	実績	527,116 527,116 527,116 527,116	205,624 205,624 205,624 205,624	10 10 10 10
	達成度	392,051	116,730	7
	分析	74%	57%	70%
分析	新型コロナウイルス感染症感染拡大にかかる緊急事態宣言に伴い、閉室していた時期があったため、想定よりも少なくなった。	新型コロナウイルス感染症感染拡大にかかる緊急事態宣言に伴い、閉室していた時期があったため、想定よりも少なくなった。	令和2年7月の香里ヶ丘図書館の開館により、令和3年2月末に周辺3分室(釈尊寺・茄子作・東香里)を閉室した。	

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	2.03
任期付職員	20.20
会計年度任用職員	4.50
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人員費	正職員、再任用、任期付	137,529	122,993	101,918	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	10,674	13,656	10,852	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
	人員費計	148,203	136,649	112,770		
	物件費計	4,337	3,857	12,822	12,830	100%
歳出計		152,540	140,506	125,592		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
一般財源		152,540	140,506	12,822	12,830	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	分室(市駅前サービススポットを含む) 年間開館日数:1,936日 貸出冊数:392,051冊 予約リクエスト受付件数(個人):174,622件 延べ利用者数:190,942人
-------	---

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	利用状況、施設状況、効率的な人員配置の検討を進め、効果的な図書館利用促進と市民の満足を図る。



# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	中央図書館運営事業													
測定年度	2020(R2)年度				部	総合教育部				課	中央図書館			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち											
	実行計画名		17-3.生涯学習活動の支援											
1. 事務事業の概要														
種類	市民サービス			特性	選択的事業				区分	一般事務事業				
事業期間	2005(H17)年度				年度	~			年度まで					
根拠法令等	枚方市立図書館条例													
関係補助金名称								サンセット	~					
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		・枚方市内及び北河内7市在住・在学・在職の利用者 ・その他図書館利用者											
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題		市内図書館・分室における図書館運営及び図書館サービスの統括が必要。											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	枚方市立図書館の核として、他の図書館施設を統轄するとともに、連携した運営がなされ、市内全域へのきめ細かな図書館サービスを受けることができる状態。													
事業概要	枚方市立図書館の核として図書館運営に係る企画立案、貸出サービス、読書活動の推進、関連機関との連携等の中心となり図書館サービスを提供することを目的として、幅広い分野の図書館資料を所蔵し、各図書館、分室、自動車文庫の貸出を支援するとともに、他の公共図書館との相互貸借、参考業務、児童サービスなどの中心となり各種図書館サービスを行う。													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	市内全域で図書館資料の貸出・返却・予約受付などのサービスが受けられる。				市民が中央図書館を利用する。				枚方市立図書館の核として幅広い図書館サービスを提供する。					
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	指標説明		中央図書館の貸出冊数		中央図書館の来館者数		展開するサービス数							
	指標種類		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標							
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		892,503	892,503	892,503	892,503	491,092	491,092	491,092	491,092	17	17	17	17
	実績		499,053				236,394				21			
達成度		56%				48%				124%				
分析		新型コロナウイルス感染症感染拡大にかかる緊急事態宣言に伴い、図書館自体を閉館していた時期があったため、想定よりも少なくなった。				新型コロナウイルス感染症感染拡大にかかる緊急事態宣言に伴い、図書館自体を閉館していた時期があったため、想定よりも少なくなった。				学校図書館との資料運搬事業や子ども夢基金活用事業を新たに実施する等、展開するサービスの拡充を行った。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	14.28
任期付職員	13.53
会計年度任用職員	5.06
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人員費	正職員、再任用、任期付	157,584	165,019	158,936	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	11,831	12,084	12,202	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人員費計	169,415	177,103	171,138	
	物件費計	22,117	22,884	21,800	24,535	89%
歳出計		191,532	199,987	192,938		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	500	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	636	823	668	
	歳入計	0	1,136	823	668	
一般財源		191,532	198,851	20,977	23,867	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間開館日数:275日</li> <li>貸出冊数(個人):499,053冊</li> <li>予約受付件数(個人):63,074件</li> <li>延べ利用者数:191,894人</li> </ul>
	<p>新型コロナウイルス感染症対策のため、4月9日から休館、5月20日から予約本のみ受渡しサービスを開始し、6月1日から感染防止対策を実施し、再開館した。再度の感染拡大を受け、12月7日から予約本の受渡しのみのサービスに縮小し、1月14日からは通常どおり開館した。</p>

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き図書館ネットワークの拠点として図書館サービスを提供する。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	分館・分室巡回業務																									
測定年度	2020 (R2) 年度				部	総合教育部				課	中央図書館															
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4																		
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち																							
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち																							
	実行計画名																									
1. 事務事業の概要																										
種類	市民サービス			特性	選択的事业				区分	一般事務事業																
事業期間	2000 (H12) 年度				年度	~			年度まで																	
根拠法令等	枚方市立図書館条例																									
関係補助金名称									サンセット	~																
関係附属機関名称																										
事業対象	メインターゲット		・枚方市内在住・在学・在職等の図書館利用者																							
	サブターゲット																									
	ターゲットが抱える課題		巡回がなくなると、市民の求める資料を最寄りの各図書館サービスポイントで受け取れなくなる。																							
	ターゲットが抱える課題																									
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民が希望する最寄りの各図書館サービスポイントで貸出・返却が可能になる。																									
事業概要	各図書館・分室が所蔵している図書館資料について、他の図書館・分室で貸出・返却が行えるよう図書館資料の巡回運搬を実施し、市民の利便性の向上を図ることを目的として、各図書館・分室が所蔵している図書館資料を、市民が希望する図書館・分室で貸出・返却が出来るよう中央図書館を起点に各図書館・分室を巡回する図書館資料の運搬を委託により実施している。																									
2. ロジックモデル及び指標設定																										
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)																	
	最寄りの各図書館サービスポイントで求める資料を借りることができる。				図書館や分室間での所蔵資料の相互貸借が可能となる。				図書館資料の巡回運搬を実施する。																	
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)																	
	インターネットによる事前予約件数				図書館サービスポイント間の巡回回数 (分館巡回回数+分室巡回回数)				巡回するサービスポイント数																	
	単位 件				単位 回				単位 サービス																	
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標																	
	R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5											
	目標 (見込み)		580,000		580,000		580,000		580,000		499		499		499		499		18		18		18		18	
	実績		648,350								502								18							
達成度				112%				101%				100%														
分析				新型コロナウイルス感染症対策のため、予約資料の受渡サービスのみ実施していた期間があったため、想定よりも件数が多かった。				祝日の日数等の関係で、指標よりも多い回数の巡回を実施した。				令和元年度に引き続き、中央図書館・各分館・各分室・各返却ポストを巡回し、資料の運搬を行った。														

3. 人員体制 (人)

	R2
正職員(再任用)	0.17
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	795	1,042	1,356		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	795	1,042	1,356		
	物件費計	13,982	14,057	14,122	14,492	97%	
歳出計		14,777	15,099	15,478			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		14,777	15,099	14,122	14,492		

5. 総括的分析

総括的分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館業務に必要な不可欠な図書館資料の配送のため、適切な巡回業務に努めた。</li> <li>・中央図書館と各図書館分館・分室を巡回する図書館資料の運搬を委託により計画通りに実施した。</li> </ul>
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き図書館業務に必要な不可欠な図書館資料の配送のため、適切な巡回業務に努める。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	香里ヶ丘図書館建替事業(中央図書館)													
測定年度	2020(R2)年度				部	総合教育部				課	中央図書館			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4						
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち												
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち												
	実行計画名													

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業	
事業期間	2016(H28)年度		年度	~	年度まで	
根拠法令等	図書館法					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	・枚方市内及び北河内7市在住・在学・在職等の図書館利用者				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	施設の老朽化、狭隘な閲覧スペース、バリアフリー化の遅れなどにより、適切な図書館運営が難しくなっている。				
	ターゲットが抱える課題	図書館と公園の一体的な整備を官民連携で進めることによる魅力的な活動の場が必要である。				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若年・子育て世代を中心とする新たな定住促進に繋がった状態。</li> <li>・香里ヶ丘地区のまちづくりの一環として、隣接する公園等と連携して新香里ヶ丘図書館を機能した状態。</li> </ul>					
事業概要	若年・子育て世代を中心とする新たな定住を促し、持続可能な都市を目指すために、香里ヶ丘地区のまちづくりの一環として、老朽化した香里ヶ丘図書館を建替えるため、平成29年度に解体・基本設計を完成し、現香里ヶ丘図書館を閉館する。平成30年度から現図書館を解体し、香里ヶ丘中央公園の擁壁工事完了後、図書館建物を建設する。					

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
	公園等と連携して魅力的な活動の場として機能する。	近隣住民が図書館を利用し、地域拠点として認知される。	老朽化した香里ヶ丘図書館を建替え、地域拠点として図書館サービスを提供する。	
指標設定	指標説明	公園と連携して開催したイベント数	香里ヶ丘図書館来館者数	工請費等の整備に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式: 決算額/当初予算額×100】
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	目標 (見込み)	4 4 4 4	126,600 190,000 190,000 190,000	0 0 0 0
	実績	1	174,686	0
	達成度	25%	138%	
	分析	新型コロナウイルス感染症対策のため、イベント中止期間があったことから想定より少なくなった。	積極的なPRにより、想定よりも多くの方の来館があった。	令和元年度に建替え完了済。

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.08
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	7,315	2,485	8,613		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	7,315	2,485	8,613		
	物件費計	316,140	389,043	61,296	63,928	96%	
	歳出計	323,455	391,528	69,909			
歳入	国庫支出金	137,700	183,856	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	141,500	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	279,200	183,856	0	0		
	一般財源	44,255	207,672	61,296	63,928		

#### 5. 総括的分析

総括的分析	令和2年3月に建物の引き渡しを受けた新香里ヶ丘図書館に、旧図書館時代に使用していた物品等に加え、新たに購入した書架等、物品を搬入し、整備したうえで、令和2年7月22日に再開館し、指定管理者による運営を開始し、本事業は完了した。
-------	---

#### 6. 今後の方向性

区分	終了
今後の取組方針	令和2年3月に建物の引き渡しを受けた新香里ヶ丘図書館に、旧図書館時代に使用していた物品等に加え、新たに購入した書架等、物品を搬入し、整備したうえで、令和2年7月22日に再開館し、指定管理者による運営を開始し、本事業は完了した。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	子どもに本を届ける事業												
測定年度	2020(R2)年度			部	総合教育部				課	中央図書館			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4					
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち											
	実行計画名	17-3.生涯学習活動の支援											

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2016(H28)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	枚方市基金条例				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	・枚方市内在住・在学の子ども			
	サブターゲット	・寄附希望者			
	ターゲットが抱える課題	子どもたちにはより多くの本との出会いが必要。			
	ターゲットが抱える課題	寄附したくなる魅力の創出。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	学校・保育所(園)・幼稚園や図書館などを利用する子どもたちがよりたくさんの本と出会うことができる。				
事業概要	子どもがたくさんの本と出会うことができるように、基金を積み立て、その基金を使って絵本や児童書を購入する。以下の方法で基金を積み立てる。1.ふるさと寄附金による基金の積み立て。2.市民からいただいた寄贈図書のうち、図書館資料として活用しなかった図書については売却し、その売却益を基金に積み立てる。積み立てた基金で絵本や児童書を購入し、学校や保育所(園)、幼稚園、地域の子育て団体に届ける。また、購入した児童書を、授業での調べ学習や読み聞かせ、朝読書、朗読会等で活用する。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	購入図書を学校や保育所、幼稚園等に届ける。				アウトプット (活動結果)	基金を活用して絵本や児童書を購入する。				インプット (活動)	ふるさと寄附金や売却益を基金に積み立てる。			
	指標説明	学校や保育所・幼稚園等への団体貸出冊数				基金による児童書購入冊数 (基金執行予定額÷1冊当たりの児童書購入平均額(前年度分:平成30年度は1,466円(税込み))	基金積立額								
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	92,345	92,345	92,345	92,345	4,160	4,160	4,160	5,160	3,406,000	3,406,000	3,406,000	3,406,000		
	実績	47,836				3,061				3,448,444					
	達成度	52%				74%				101%					
分析	新型コロナウイルス感染症感染拡大にかかる緊急事態宣言に伴い、図書館自体を閉館していた時期があったため、想定よりも少なくなった。				令和元年度の指定寄附額の減少や古紙売払い単価の低下に伴い、基金積立額が減少したことにより、充当額も減ったため、想定よりも少なくなった。				「子どもに本を届ける基金」への指定寄附が想定よりも弱冠多くなった。						

3. 人員体制 (人)

	R2
正職員(再任用)	0.32
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	795	1,283	2,552		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	795	1,283	2,552		
	物件費計	4,986	9,456	7,935	8,361	95%	
歳出計		5,781	10,739	10,487			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	9,523	7,935	8,361		
	歳入計	0	9,523	7,935	8,361		
一般財源		5,781	1,216	0	0		

5. 総括的分析

総括的分析	積立金額 3,448,444円 うち指定寄附金分 3,442,831円(自動販売機からの寄附金(商品代金の一部<3%>123,845円含む) うち古紙売却益分 5,047円 うち利子収入 566円 令和元年度積立金のうち500,000円を子どもに本を届ける事業へ充当、4,000,000円を香里ヶ丘図書館建替事業の図書購入費に充当し、児童書を購入、子ども読書活動推進のための団体貸出用の図書として所蔵した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業について、さらに広範囲に、積極的にPRを行う。</li> <li>・学校など現場が求めている本の把握と、適切な蔵書を購入する。</li> <li>・物流の充実を図り、子どもたちや教育機関等へ円滑に本を届けられるようにする。</li> </ul>



# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	生涯学習施設及び図書館管理運営効率化事業													
測定年度	2020 (R2) 年度				部	総合教育部				課	中央図書館			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち											
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	市民サービス			特性	選択的事業				区分	一般事務事業				
事業期間	2017 (H29) 年度				年度	～								年度まで
根拠法令等	地方自治法													
関係補助金名称												サンセット	～	
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		・枚方市内及び北河内7市在住・在学・在職等の図書館利用者											
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題		開館時間や曜日によって図書館を利用したいができない市民がいる。											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	開館時間の延長により、来館する機会が増加する。													
事業概要	生涯学習施設と図書館の複合施設の図書館に指定管理者制度を導入し、生涯学習施設と一体管理を行うことで、効果的・効率的な運営を行う。施設の効率的な運営の観点から、生涯学習施設と図書館の複合施設の図書館6館に指定管理者制度を導入する。													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	開館時間増により、利用機会が増え、図書館サービスに対する利用者の満足度が上がる。				指定管理者制度を導入し、開館時間増により来館できる市民が増える。				生涯学習施設と図書館の複合施設の図書館に指定管理者制度を導入する。					
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	図書館サービスに関する窓口アンケートの満足度の割合				指定管理館の来館者数合計				指定管理者制度を導入する施設数					
	単位				単位				単位					
	%				人				施設					
	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標種類	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
指標数値	80	80	80	80	1,293,153	1,293,153	1,293,153	1,293,153	7	7	7	7		
実績	71				921,113				7					
達成度	89%				71%				100%					
分析	新型コロナウイルス感染症感染拡大にかかる緊急事態宣言に伴い、図書館自体を閉館していた時期があったため、満足度も弱冠減少。				新型コロナウイルス感染症感染拡大にかかる緊急事態宣言に伴い、図書館自体を閉館していた時期があったため、想定よりも少なかった。				令和2年4月に香里ヶ丘図書館に指定管理者制度を導入し、既に導入していたさだ・牧野・楠葉・津田・菅原・御殿山図書館と合わせて7分館となった。					

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.27
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	3,180	1,684	2,153		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	3,180	1,684	2,153		
	物件費計	277,147	280,585	283,832	283,832	100%	
	歳出計	280,327	282,269	285,985			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		280,327	282,269	283,832	283,832		

#### 5. 総括的分析

総括的分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度より引き続き6分館で指定管理者による効率的・効果的な運営を行った。</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大に伴い、臨時休館や予約図書受渡のみのサービスに限定される時期があったが、複合施設の特性を生かした児童・成人向けの各種事業を積極的に実施した。</li> </ul>
-------	---

#### 6. 今後の方向性

区分	廃止
今後の取組方針	図書館分館運営事業へ統合。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	図書館運営事務												
測定年度	2020(R2)年度			部	総合教育部				課	中央図書館			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外										
	施策目標		99.施策体系外										
	実行計画名												

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務		区分	庶務的内部管理事務						
事業期間	1973(S48)年度			年度	~	年度まで						
根拠法令等	枚方市立図書館条例											
関係補助金名称						サンセット	~					
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット	図書館業務に携わる職員										
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題	図書館業務を適正かつ効率的に執行し、図書館サービスの向上を図る必要がある。										
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正かつ効率的な図書館所管事務の執行</li> <li>図書館サービスの向上</li> </ul>											
事業概要	課の運営事務											

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)											
	実績												
	達成度												
分析													

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	3.62
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	29,021	28,300	26,798		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	29,021	28,300	26,798		
	物件費計	4,074	4,416	4,105	3,505	117%	
	歳出計	33,095	32,716	30,903			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		33,095	32,716	4,105	3,505		

#### 5. 総括的分析

総括的分析	図書館及び分室の庶務事務等を適切に実施した。
-------	------------------------

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	効率的・効果的な事務執行に引き続き努める。